

令和2年4月7日

校長 佐伯 道彦

令和2年度前期始業式学校長式辞

おはようございます。終業式と同様、放送での始業式で少し寂しい気もしますが、どうしても伝えたいことがありますマイクの前にいます。

本日、福岡県に緊急事態宣言が出される予定です。今後一か月の間、授業をはじめ部活動など多くの教育活動が制限されることが予想されます。この期間を君たちには「安全に」そして「有意義に」過ごして欲しいと思い話をします。

まず、安全面について伝える前に、ニュースで聞いて印象的だった言葉を紹介します。

ウイルスが勝手に拡がっているんじゃない！人間が拡めているんだ！

ウイルスを拡めないために、専門家から教えてもらった情報を君たちと共有したいと思います。感染するパターンには、いくつかあるようですが、最初に恐れられていた空気感染は、現在では狭くて風通しの悪い空間に15分～30分位、マスク無しでいない限りは起こらない、という考えが主流になっています。現状では、ウイルスのついた手で顔を触り、目・鼻・口などから感染している例が圧倒的に多いそうです。だから、感染を防ぐために「手を綺麗にする」そして「顔を触らない」ということ！を徹底してほしい。

そして、万が一感染しても発症しないよう、栄養と睡眠をしっかりととり、抵抗力をつけてほしい。

また、新型肺炎の患者の多くは、発症していない段階ではウイルスの感染に気づいていなかったということもあり、みなさんには自分が感染している前提で、人にうつさないような行動をしてほしい、とのことでした。

次に「有意義に」と言うことですが、この時期をどう過ごしたとしても、高校生という多感な時代に、全世界的な危機・困難を体験し、乗り越えていく経験の持つ意味は、計り知れないものだと感じています。

だからこそ、この時期に何を考え、何をするのか！いろんな制約やルールの中で、どう「自分らしさ」や「個性」を表現していくのか！授業や学校行事、そして部活動を含めた教育活動ができないピンチを、自分にはチャンスだと考えてチャレンジしていくことが、学校が再開されたときに、大きな力となっているような気がしています。

この期間が「安全に」で「有意義に」なものになるよう、君たちが「正しく考え、正しく判断し、正しい行動」をしてくれることを期待しています。